

● **「未来世代構築」高知信用金庫は、新たな組織と人事制度へ創造的人財を育み、地域の未来価値創造を目指します！**

各位

令和8年9月4日

高知信用金庫(理事長 山崎 久留美)は、中期経営計画「未来世代構築 2025」の実現に向け、機構改革および人事制度改革を実施します。

「高知に生きる。人のために働く。」私たちが目指すのは、地域・事業・暮らしに資する県民のための金融サービス提供に全力で取り組みすることに加えて、地域の可能性を見だし、人と事業者の方々の挑戦を支え、高知に新たな価値を生み出す「地域活性化機関」を目指し挑戦し続けています。

事業が発展し、人が育ち、文化が育まれ、新しい産業が生まれ、若者が夢を持ち続けられる高知。その未来を、地域の皆さまとともに創ることが、私たちの社会的使命です。100年を超える歴史の中で培ってきた「信用」を礎に、健全経営・堅実経営を堅持しながら、未来に向けた新たな一歩を踏み出します。

ブランドタグライン

地域の未来価値を創造する。

Create the Future Value of Kochi

ブランドメッセージ

未来は、誰かが創るものではなく、私たち一人ひとりの挑戦が、地域の未来を創る。創造的人財が育つ組織から、未来価値は生まれる。

高知信用金庫は、「地域活性化機関」として、地域の未来価値を創造し続けます。

1. 改革の必要性

人口減少、少子高齢化、事業承継、人材不足、デジタル化の進展など、地域を取り巻く環境は大きく変化しています。

私たちは、これから地域金融機関に求められるのは、従来の金融業務だけでなく、地域の課題をともに考え、事業者や生活者の方々の挑戦を支え、新しい事業、産業、文化、交流、豊かな暮らしを生み出していくことと考えています。

そのため、高知信用金庫は、これまでの金融機関としての機能をさらに高めながら、地域の未来づくりに積極的に取り組む「地域活性化機関」へ進化したいと考えています。今回の改革は、**地域の未来価値を創造できる組織と、その担い手となる創造的人財を育てるためのチャレンジ**です。

2. 未来を創る、新しい組織へ

今回の機構改革では、経営戦略、企画、開発、地域活性化などの「未来を創る機能」と、営業、業務運営、事務処理などの「地域と事業を支える機能」を明確にし、各部門の専門性、機動力および連携力を高め、同時に、業務管理、リスク管理および内部監査の役割を明確にし、挑戦を支える健全で強固な経営基盤を構築します。

新しい組織では、職員一人ひとりが決められた業務を行うだけでなく、地域やお客さまのために何ができるかを考え、自律的に自ら行動することを大切にします。

企画、開発、業務運営に携わる人財、営業店で地域と向き合う人財、業務を検証する人財が、それぞれの役割に誇りを持ち、同じ目的に向かって連携する組織をつくります。当金庫が目指すのは、地域の未来を待つ組織ではなく、地域とともに未来をつくる組織です。

新しい組織体制

業務推進本部グループ

金庫全体の方向性を考え、新しい価値を生み出す部門です。

- 業務推進部 経営企画、業務企画、商品・サービス開発、店舗企画など
- 地域支援部 地域活性化、地域プロジェクト、地域通貨、官民連携など
- 資金証券部 資金管理、証券投資、市場リスク管理など
- 業務管理部 業務規程、法令対応、マナー・ローンダリング対策、預金保険制度統括など
- 総務管理部 総代会、理事会、会員、人財開発、採用など

システム開発グループ

金融サービスと地域サービスを支えるデジタル基盤を構築する部門です。

- 基幹系システム部
- 情報系システム部

業務運営グループ

金融業務や組織運営を正確かつ安定的に運営し、本部及び営業店を支える部門です。

- 庶務人事部
- 金融営業部
- 業務サポート部

営業店グループ

営業店を次の3つのリージョンに編成し、地域特性を踏まえた活動を推進します。金融サービスの提供に加え、地域、事業者、生活者に最も近い立場から、地域課題の把握と解決に取り組みます。

- 中央リージョン
- 西部リージョン
- 東部リージョン

監査室

監査室は理事長直轄の独立した組織として、業務監査、マネー・ローンダリング対策監査及び預金保険制度に関する監査を行います。

3. 人事制度も、「未来を創る人」を育てる制度へ

組織が変わるだけでは、未来は変わりません。新しい組織を動かし、地域の未来価値を創造するのは、一人ひとりの職員です。

今回の人事制度改革では、役職や勤続年数だけではなく、職員が担う役割、責任、専門性、挑戦および地域への貢献を評価する制度へ進化します。

管理職を目指す道だけでなく、高度な専門性を磨き、プロジェクトや地域活性化の現場で力を発揮する道进行、多様な人財が活躍できる組織をつくれます。

AR 制度（基幹業務責任制度）

Accountable Responsibility

AR 制度は、管理監督者に共通する経営上の責任とは別に、全庫的に重要な基幹業務や高度な専門業務を担う職員の追加的な役割と責任を評価する制度です。

対象となる主な業務は、次のようなものです。

- 地域活性化プロジェクト
- 全庫横断の重要プロジェクト
- DX・システム開発
- 高度なリスク管理
- 重要な制度設計・運営
- 複数部門に影響を及ぼす専門業務

* AR 制度は、役職上の地位を表すものではなく、「未来を創る責任」「組織を動かす責任」「全庫に影響を与える専門性」を評価する制度です。責任の範囲に応じて AR1 級から AR3 級までの責任等級を設け、対象者には基幹業務責任手当を支給します。

AM 制度（準基幹業務責任制度）

Advanced Mission Responsibility

AM 制度は、非管理監督者のうち、高度な専門知識、実務能力、判断力および調整力を発揮し、重要な役割を担う職員を評価する制度です。役職にかかわらず、専門分野で力を発揮する職員や、部門を超えた業務調整、プロジェクト推進などを担う若手・中堅職員の活躍を後押しします。

* 責任の範囲に応じて AM1 級から AM3 級までの責任等級を設け、対象者には準基幹業務責任手当を支給します。AM 制度により、「管理職になること」だけを唯一のキャリアとせず、専門性や使命を軸とした多様なキャリア形成を可能にし、若手職員の挑戦を後押しします。

4. 「未来を創る人」に、未来を託す

今回の人事制度改革では、AR 責任手当および AM 責任手当を新設するとともに、役付手当を見直し、新たに支店長責任手当を設けます。これにより、対象となる職員については、その役割や責任に応じて、年収を約 50 万円から最大 150 万円程度引き上げることを想定していますが、当金庫では、この改革を賃金の引上げではなく、地域の未来価値を創造する人財への投資と位置付けています。

挑戦する人を応援し、挑戦した人を正当に評価する。

職員一人ひとりが仕事に誇りを持ち、その挑戦と責任に、ふさわしい評価と処遇で応える制度により、自らの成長と地域の未来を重ねながら働ける環境を整えます。

地域を変える仕事には、それにふさわしい評価を

高知信用金庫が求めるのは、地域課題を自ら発見する力、新しい価値を構想し挑戦し実現する力、高度な専門性によって組織やチームに貢献する力、そして、地域への想いを行動に変える力です。こうした挑戦、責任、成果および貢献を正当に評価し、処遇へ反映することで、創造的人財が育ち続ける組織を目指します。

創造的人財を育てる

私たちが目指す「創造的人財」とは、地域やお客さまの課題を自ら見つけ、専門性と創造力をもって解決策を考え、仲間と協働しながら新しい価値を実現できる人財です。変化を恐れるのではなく、変化を機会と捉える。前例がないことを理由に立ち止まるのではなく、地域に必要なことであれば一步を踏み出す。学びながら前へ進む。そのような一人ひとりの挑戦が、地域活性化機関を目指す高知信用金庫には不可欠です。

理事長メッセージ

私たちが目指すのは、地域に信頼され必要とされる「地域活性化機関」です。地域の可能性を見だし、人と企業の挑戦を支え、新しい価値として未来へつなぐことが、私たちの役割です。職員一人ひとりが自ら考え、挑戦し、専門性を高めながら、地域の未来価値を創造できる組織をつくるための改革です。

挑戦には責任が伴います。そして、その責任と貢献には、ふさわしい評価が必要です。若手・中堅職員、管理職、専門人財、地域活性化に取り組む人財が、それぞれの力を最大限に発揮し、地域の皆さまとともに未来を創ることができる環境を整えてまいります。一人ひとりの挑戦が組織を強くし、その積み重ねが高知の未来をつくると信じています。

高知信用金庫は、これからも地域の皆さまとともに歩み、地域の未来価値を創造し続けます。

以 上